

2016年3月期 東リ株式会社 決算説明会

(公益社団法人 日本証券アナリスト協会主催)



2016年 6月 6日 午後3時30分～午後4時30分

於：日本証券アナリスト協会 第2セミナールーム

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

2016年3月期 決算概要

連結売上高・利益の推移	P.4
連結貸借対照表概要	P.5
連結キャッシュ・フロー計算書概要	P.6
連結主要項目の概要(1)	P.7
連結主要項目の概要(2)	P.8
連結セグメント別実績	P.9

中期経営計画『SHINKA-100』

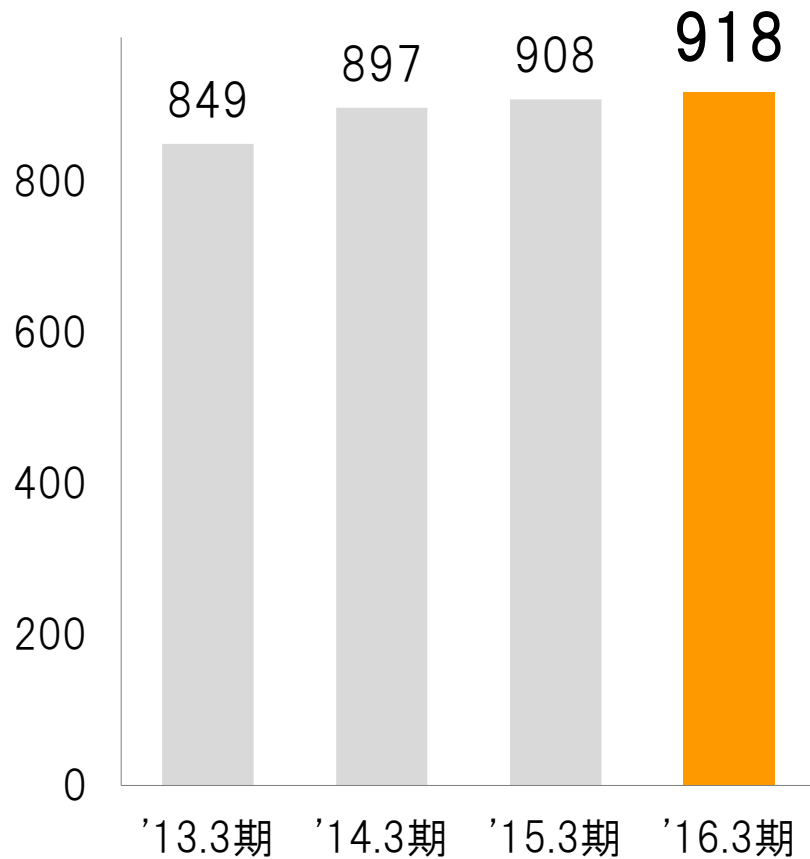
概要	P.11
重点戦略“3つの「SHINKA」”	P.12
重点戦略「進化」	P.13
重点戦略「深化」	P.19
重点戦略「真価」	P.22
連結経営指標	P.23
連結業績見通し	P.25
配当の状況(連結)	P.26

2016年3月期 決算概要

連結売上高・利益の推移

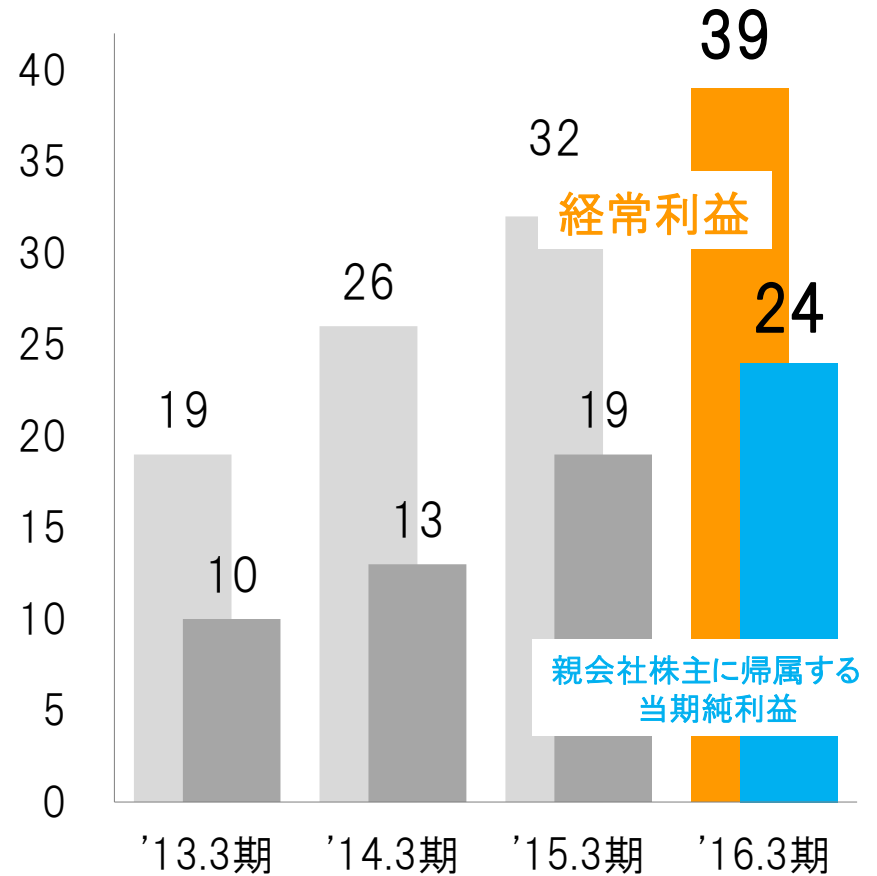
売上高の推移

(億円)



利益の推移

(億円)



連結貸借対照表概要

(億円)

	2016年 3月末	2015年 3月末	増減		2016年 3月末	2015年 3月末	増減
				流動負債	306	311	△ 5
				固定負債	119	121	△ 1
流動資産 計	467	466	0	負債 計	426	433	△ 7
				株主資本	291	271	+19
固定資産 計	261	253	+7	純資産 計	303	286	+16
資産 計	729	720	+8	負債及び 純資産 計	729	720	+8

<資産>	2015年3月末比
現金及び預金	+6
棚卸資産	△2
建物及び構築物	+14
投資有価証券	△5

<負債及び純資産>	2015年3月末比
支払手形及び買掛金	△7
利益剰余金	+19
その他有価証券評価差額金	△3

厚木事業所 事務所棟および滋賀事業所 物流倉庫等への設備投資により増加

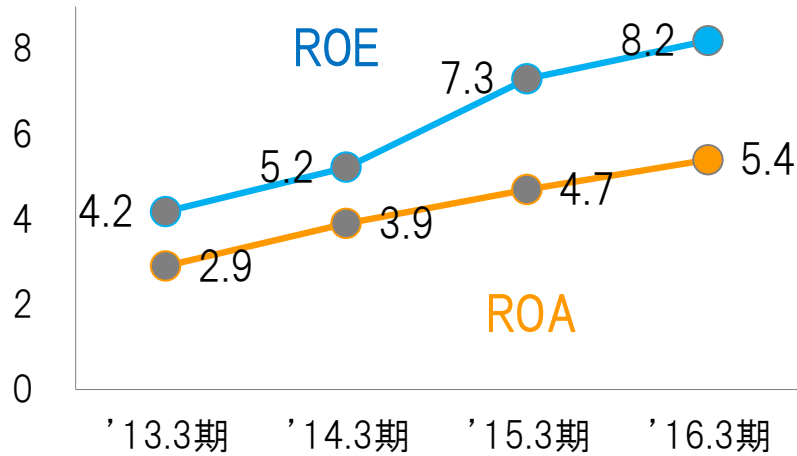
連結キャッシュ・フロー計算書概要

(億円)

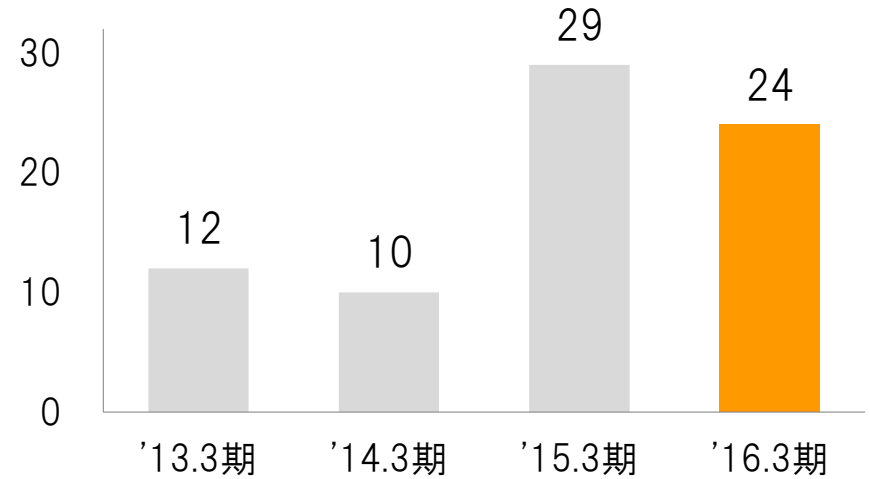
	'16.3期	'15.3期	増減
税金等調整前当期純利益	36	32	+4
売上債権の増減額	3	△ 0	+3
たな卸資産の増減額	2	△ 5	+7
仕入債務の増減額	△ 7	△ 0	△ 7
営業活動によるキャッシュ・フロー	44	33	+11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25	△ 16	△ 8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11	△ 12	0
現金及び現金同等物の増減額	6	4	+1
現金及び現金同等物の期首残高	82	77	+4
現金及び現金同等物の期末残高	89	82	+6

連結主要項目の概要(1)

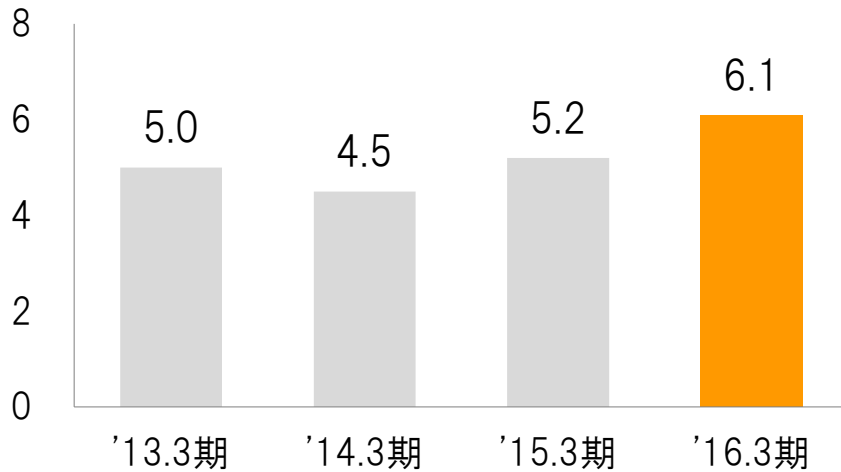
① ROA(総資産経常利益率)
ROE(自己資本当期純利益率) (%)



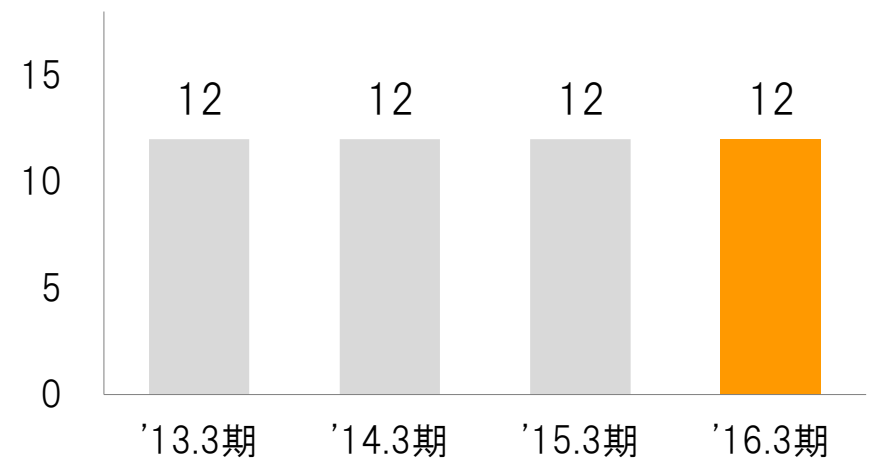
③ 設備投資額 (億円)



② 研究開発費 (億円)

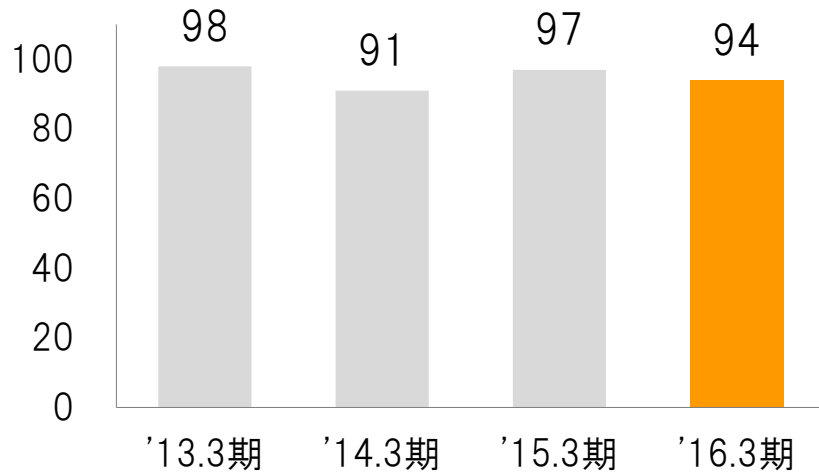


④ 減価償却費 (億円)

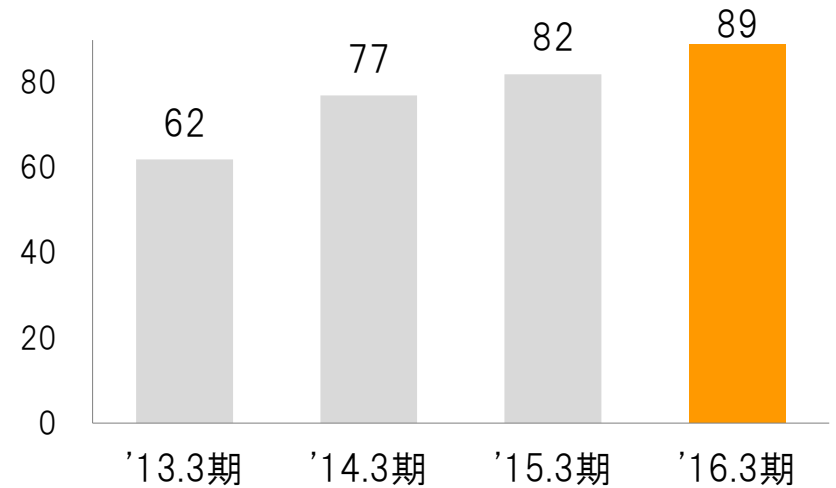


連結主要項目の概要(2)

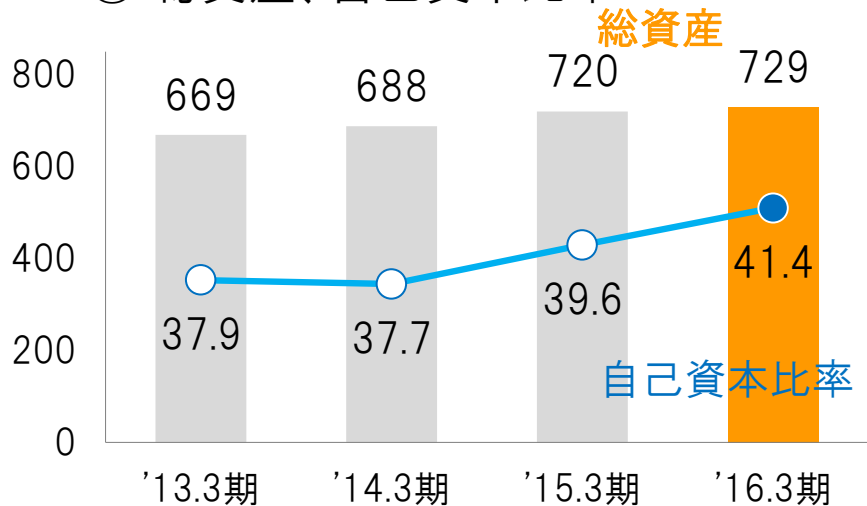
⑤ 棚卸資産 (億円)



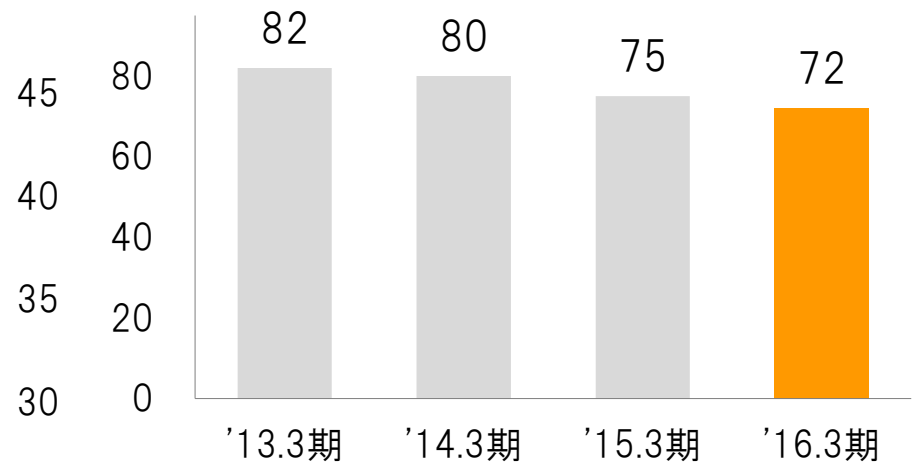
⑦ 現金・現金同等物残高 (億円)



⑥ 総資産、自己資本比率 (億円/%)

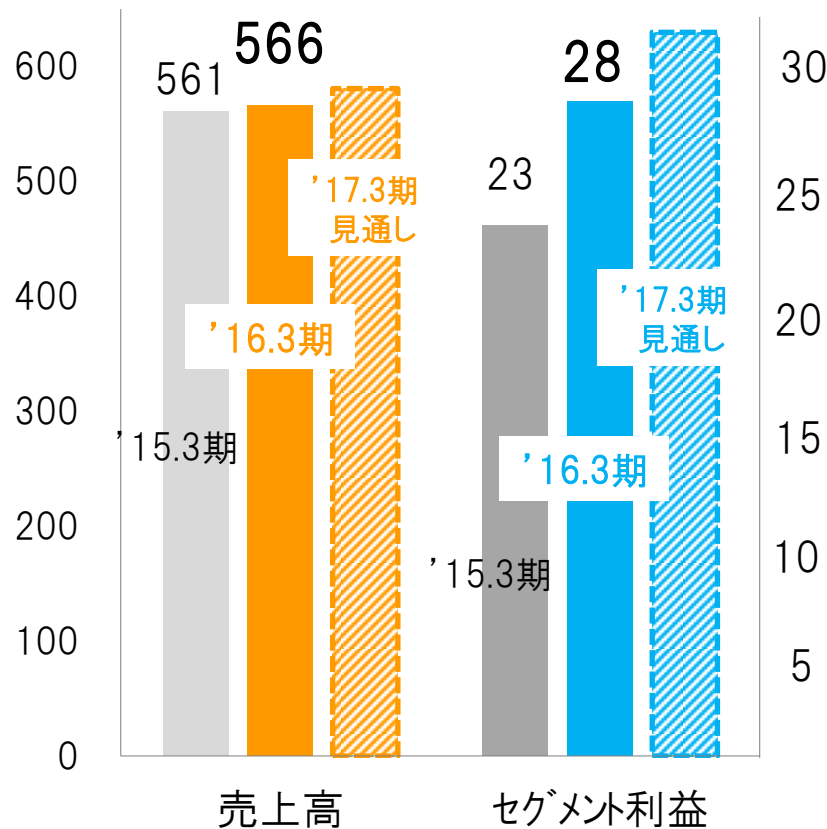


⑧ 借入金残高 (億円)



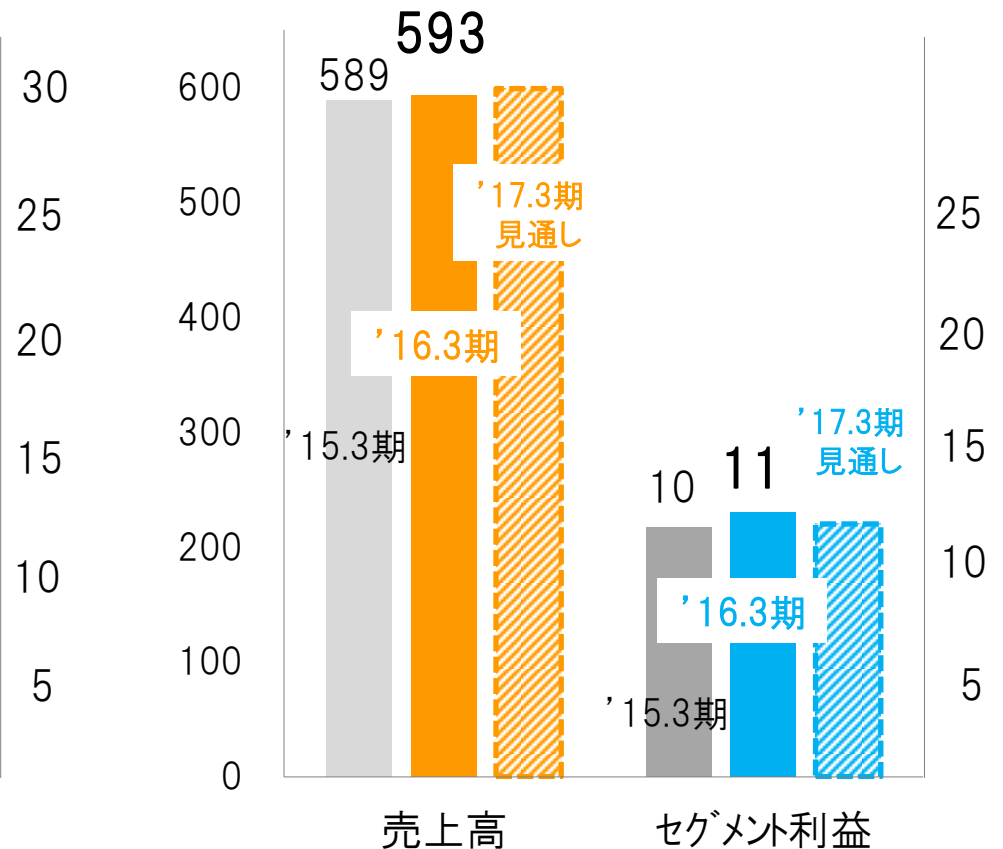
プロダクト事業

(億円)



インテリア卸及び工事事業

(億円)



中期経営計画『SHINKA-100』

『 SHINKA-100 』

(フェーズⅠ)2015-17年度・(フェーズⅡ)2018-20年度

目まぐるしく変化する経営環境に対応すべく、フレキシビリティと強靭さを兼ね備えた事業構造への変革を目指す。

2019年の東リ『創業百年』に向けて、事業基盤強化と成長戦略を推し進め、『百年』の後へのさらなる発展性を追求する。

① 「進化」

～コア事業の成長と発展～

② 「深化」

～グローバル事業展開の拡大～

③ 「真価」

～成長と発展のための事業基盤の整備～

「進化」 ～コア事業の成長と発展～

- ① 中長期商品戦略に基づく事業の強化
- ② 拠点最適化の実現
- ③ 販売チャネルの強化
- ④ 市場別販売戦略の強化



「マチュアNW」

(2015年8月発売)

- ・主力商品「マチュア」にNW機能を付与
- ・長期間ワックスメンテナンスが不要な「NWシリーズ」として新たにラインアップ

永く、強く、美しく。



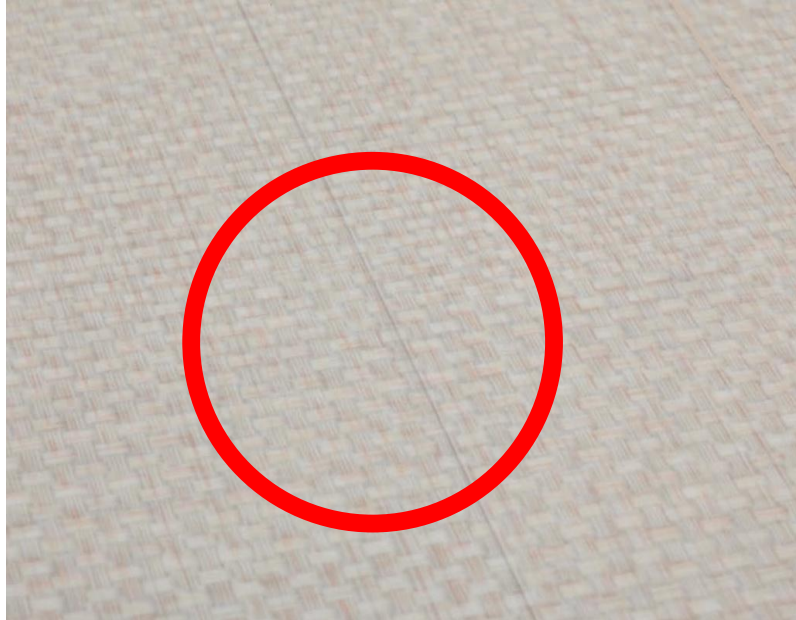
NO WAX

ワックスメンテナンスがいらぬ床材

NWシリーズ

重点戦略「進化」～①「中長期商品戦略に基づく事業の強化」

ジョイントシールド工法



溶接工法



新継目処理工法

「ジョイントシールド」 (2016年4月発売 特許出願中)

- ・「NWシリーズ」床材 塩ビシート専用の画期的な継目処理工法
- ・長尺シートの継ぎ目が目立ちにくいため、床材の意匠を損なわない
- ・継ぎ目部分に汚れが溜まりにくいため、床材の美観を維持

重点戦略「進化」～①「中長期商品戦略に基づく事業の強化」



「ファブテックタイル/ファブテック腰壁」

(2016年4月発売)

- ・伝統の平織り技術と現代のテクノロジーを融合
- ・タイルと腰壁材をラインアップ
- ・信頼の国内生産



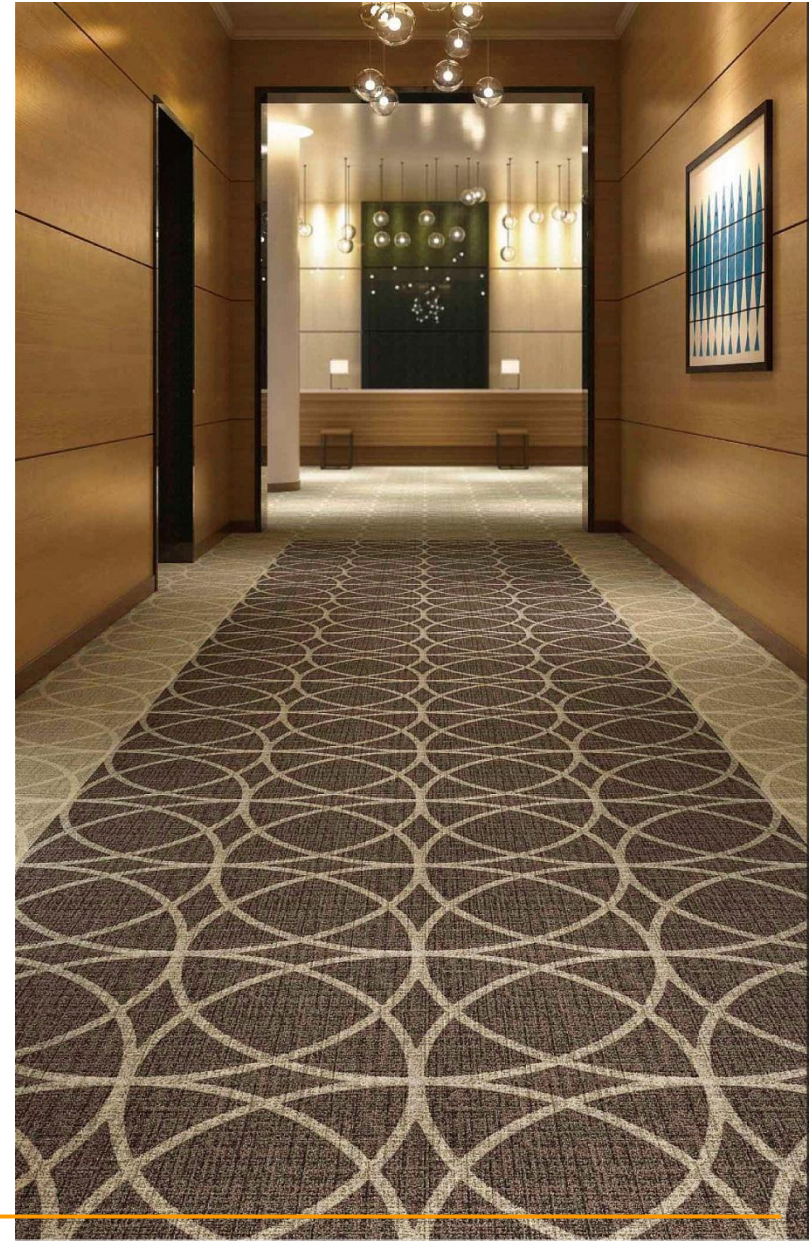
重点戦略「進化」～②「拠点最適化の実現」



- ・厚木事業所に床材製造設備を導入 ～ 供給力を増強（2016年3月）
- ・滋賀事業所にカーペット製造設備を導入 ～ 供給力を増強（2016年1月）
- ・滋賀事業所の新倉庫を建設 ～ 物流体制を強化（2015年11月）
- ・厚木事業所に新カーテン縫製棟を建設 ～ 拠点集約で事業収益改善
(2016年1月)

重点戦略「進化」～④「市場別販売戦略の強化」

- ・ホテルリニューアル市場の攻略
- ・B to C 市場への販売強化
(ネット販売チャネル・量販チャネル等)



「深化」 ～グローバル事業展開の拡大～

- ① 海外販売の拡大
- ② 海外事業拡大のための基盤の強化
- ③ グローバル視点での業務への取組み

由

多加

YUTAKA
2000
SERIES

- ・ YUTAKA2000発売
(2016年1月)
- ・ ISO14001 認証を取得
(カーペット)

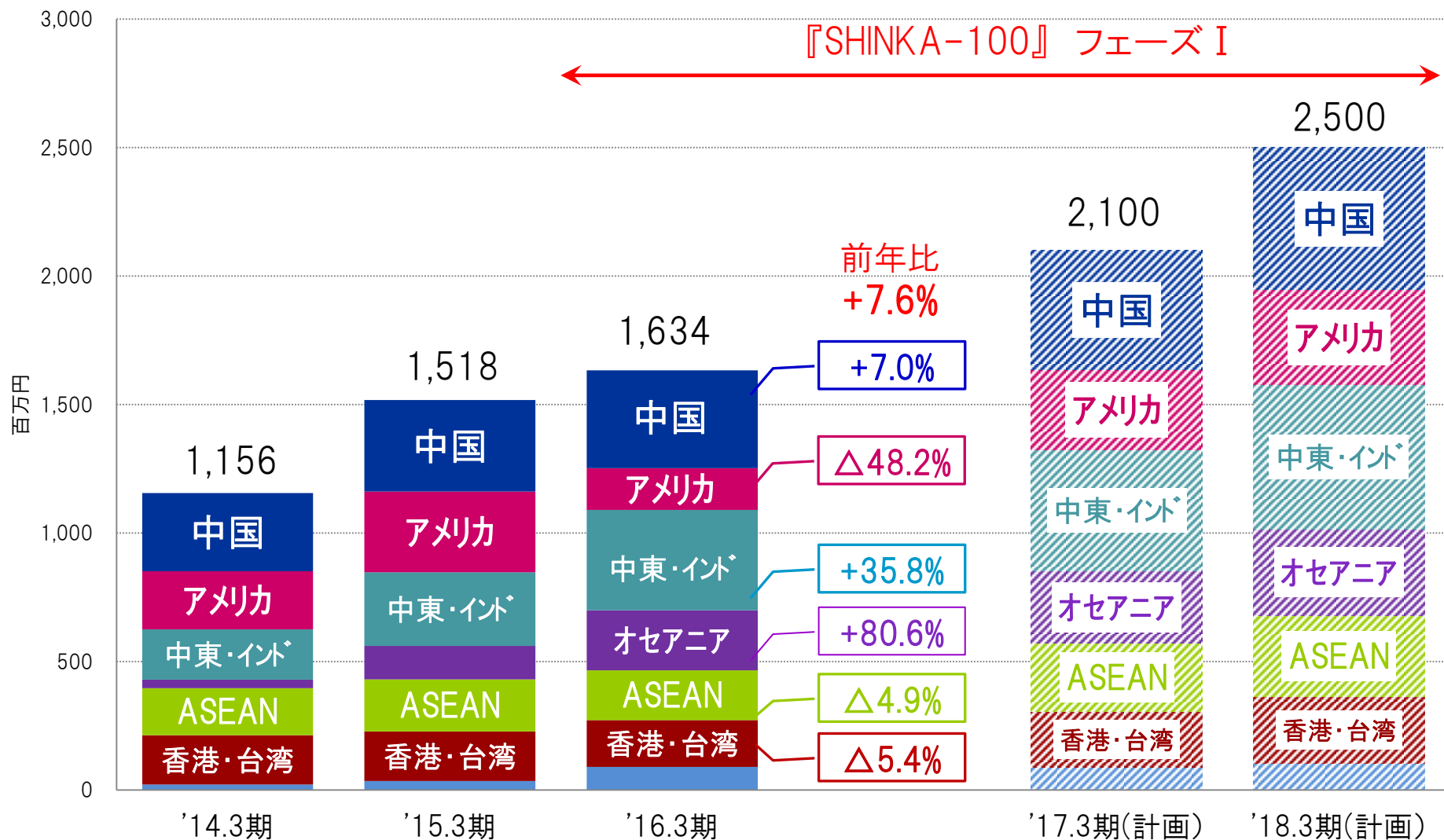


- ・ 米国での塩ビ床材
販促強化



重点戦略「深化」～①「海外販売の拡大」

海外エリア別 売上実績



「真価」 ～成長と発展のための基盤整備～

- ① 人材育成
- ② 財務体質の強化
- ③ 基幹システム変更による業務改善
- ④ 利益体質の改善

(単体売上総利益率の向上、カーテン・壁装材事業の収益力強化)

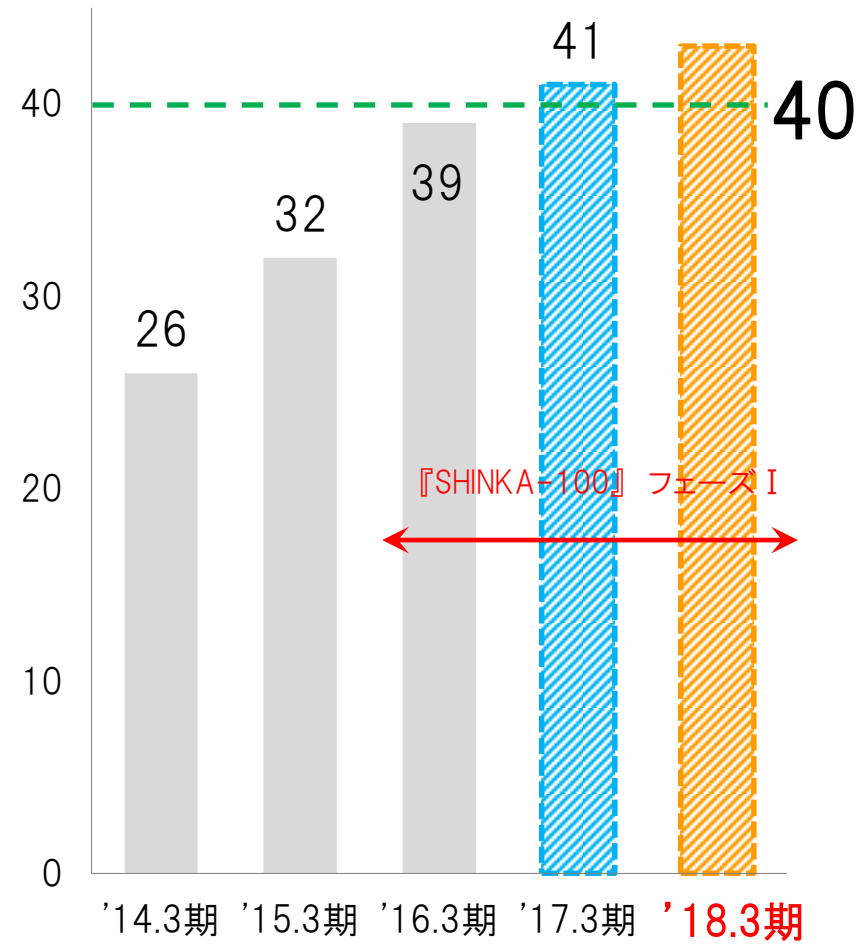
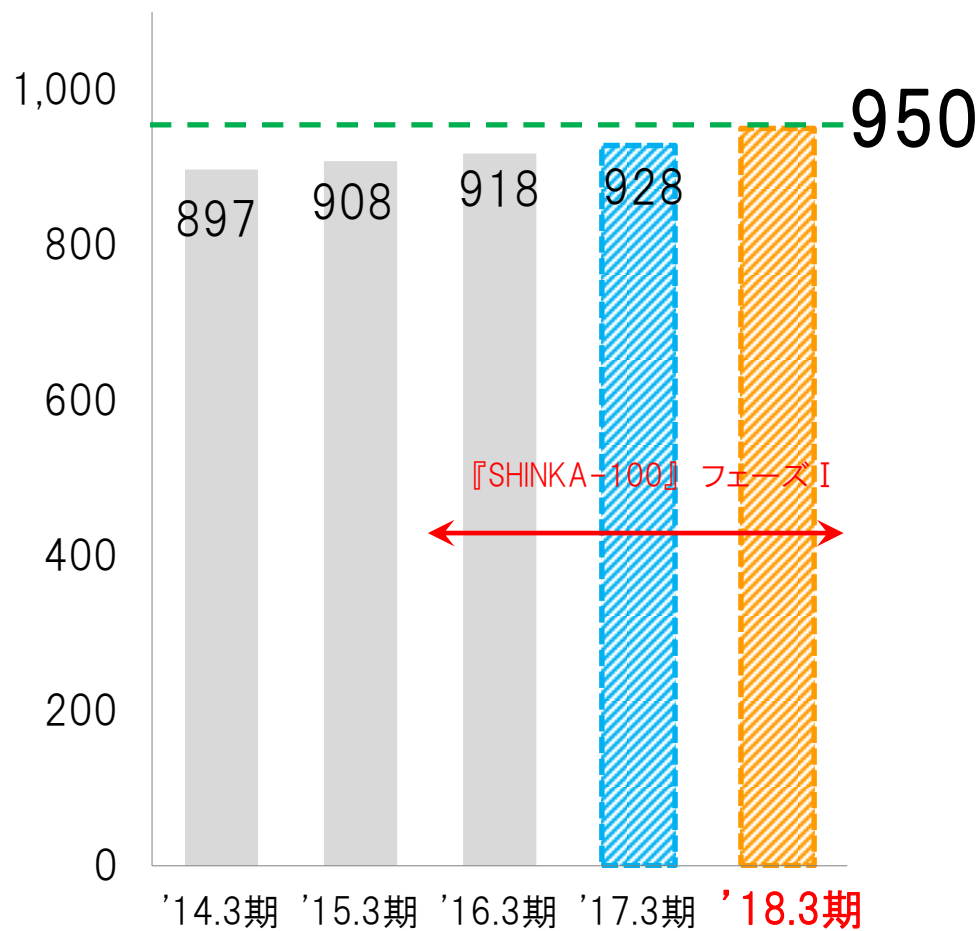
中期経営計画『SHINKA-100』 連結経営指標

売上高目標

(億円)

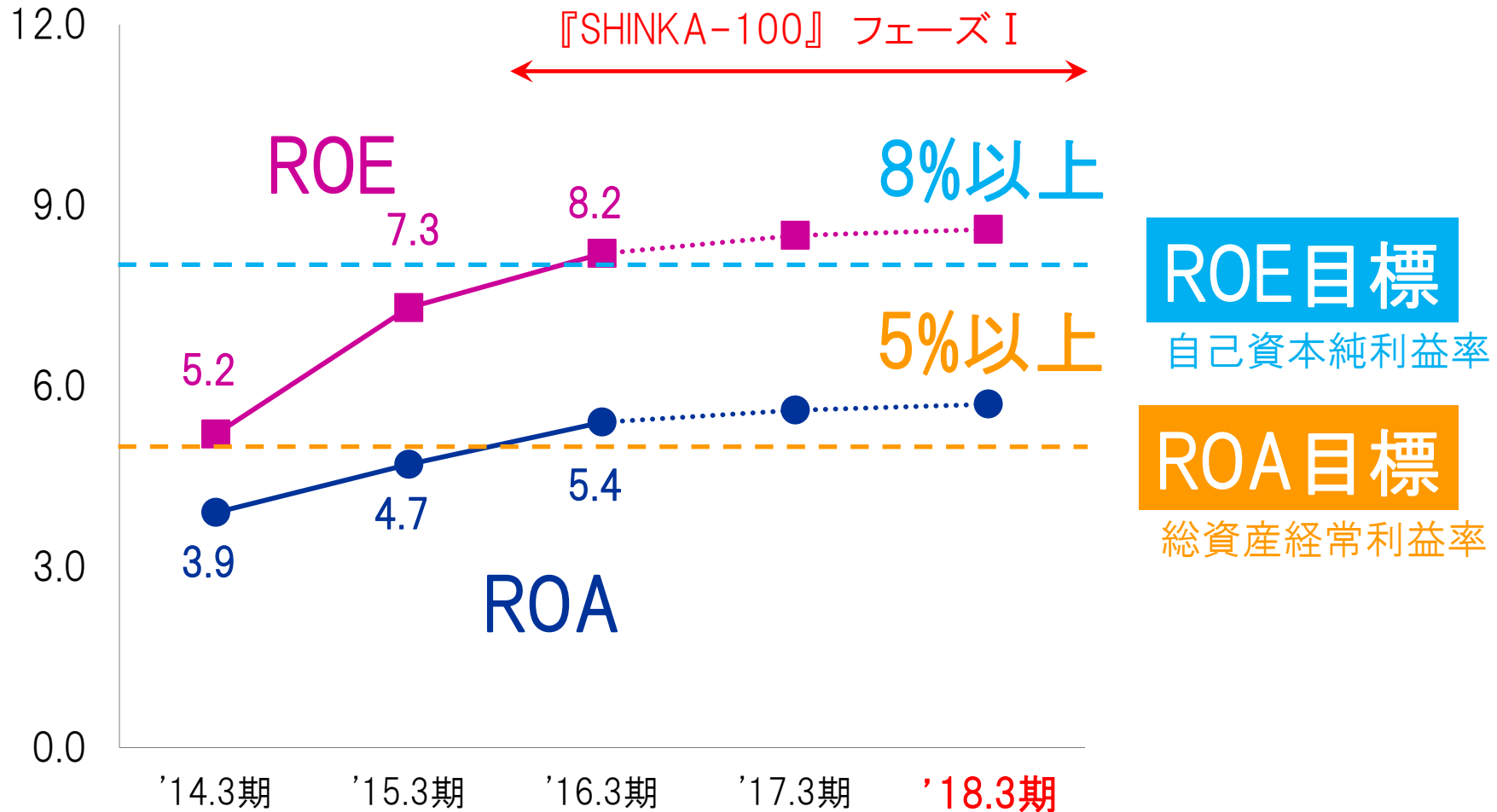
経常利益目標

(億円)



ROA・ROE目標

(%)

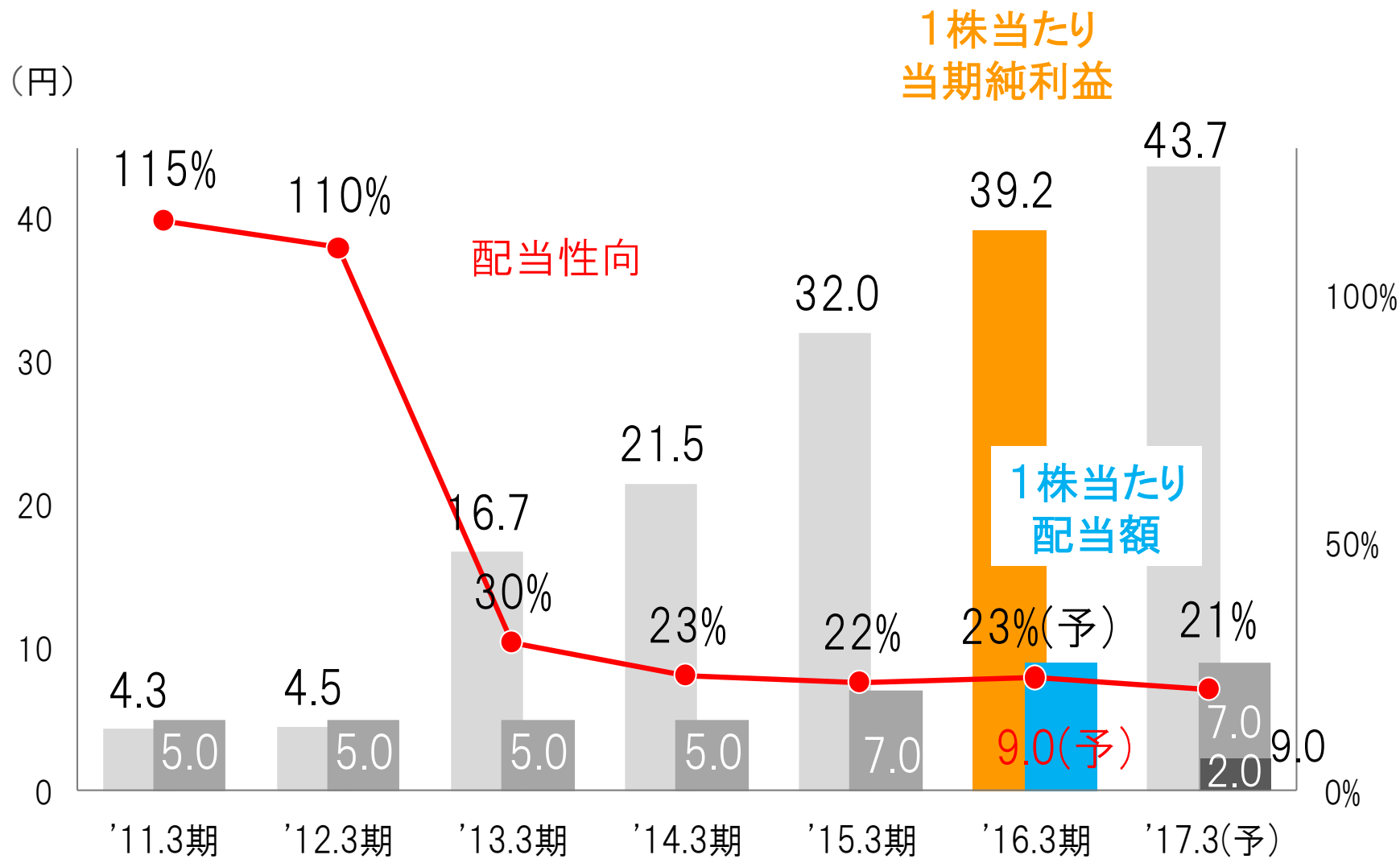


2017年3月期 連結業績見通し

(億円)

	<'16.3期> 実績	<'17.3期> 業績見通し	前期比
売上高	918	928	+1.0 %
営業利益	38	40	+5.9 %
経常利益	39	41	+4.9 %
親会社株主に帰属 する当期純利益	24	27	+11.5 %

配当の状況（連結ベース）



2016年3月期
東リ株式会社 決算説明会
(公益社団法人 日本証券アナリスト協会主催)



ありがとうございました